

ヨハネの福音書 第1章 39節

「イエスは彼らに言われた。『来なさい。そうすればわかります。』そこで、彼らについて行って、イエスの泊まっておられる所を知った。そして、その日彼らはイエスといっしょにいた。時は第十時ごろであった。」

イエスの後につく見知らぬ者たちとことばを交わし、問いかけます。また彼らも問います。路上での会話としてはかなり入り組んだものです。どこにお泊りですかとイエスに問う者たちに「来なさい」と応えます。問い、問われる間になっては、ただの通りすがりの者ではなくなりました。路上の通行人ではなくなりました。問われた者の人生に向き合うこととなります。

時は午後三時ごろです。夕方にさしかかるころです。そこまでついてきた者たちに「来なさい」とその日泊まる宿屋にさそいます。彼らはイエスのお招きにより同じ屋根の下で過ごすこととなります。よくもまあおさそいに応え宿の玄関をまたいだとびっくりします。

路上の見知らぬ者たち。汚れた人間の代表者である彼らを同じ宿に招いてくださいます。罪人と食をともにしてくださり、席を囲む会話に招いてくださいます。食事は楽しく、美味しく、なによりもイエスのお話に集中し耳を傾けたでしょう。そうすれば、わかります、と言われたことが起こります。

2022年7月12日